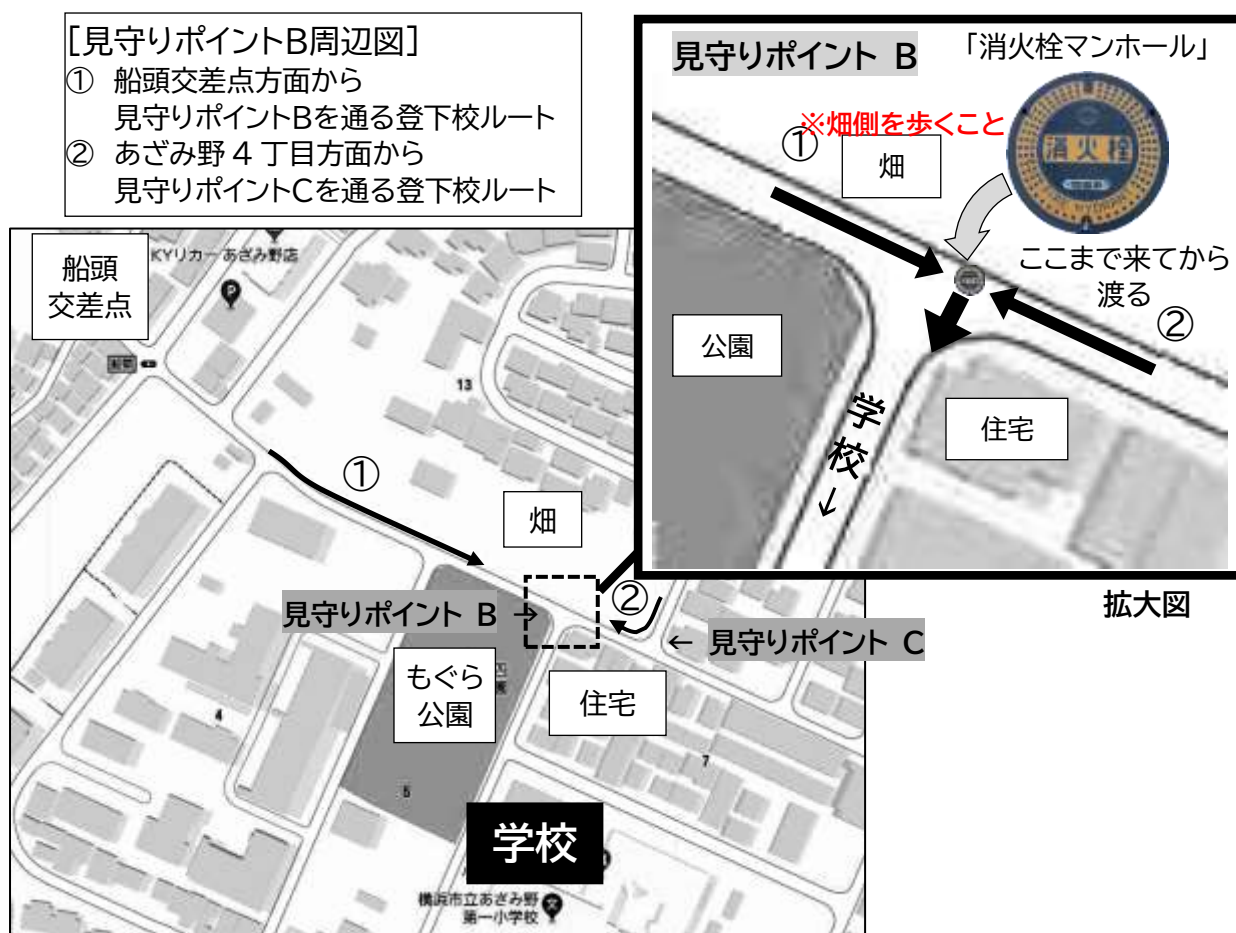


(もぐら公園と畑の間のT字路)  
『見守りポイントBの渡り方及び周辺の通学方法について』



主にあざみ野4丁目、船頭方面から通学する多くの児童が通る見守りポイントB（もぐら公園と畑の間のT字路）について、登下校の時間帯においても交通量が多く横断歩道もないため、特に危険なポイントとのご意見を毎年多くいただいています。しかし、これまでに何度となく学校やP T A、地域の皆様から市や区に対し横断歩道の設置や全面スクールゾーン化を働きかけてまいりましたが、設置の条件に合わないという理由で、具体的な対策を実現できてないのが現状です。

そこでP T A校外委員会では、令和元年度よりこちらの見守りポイントBを「**重点見守りポイント**」と考え、一年を通してできる限り保護者の皆様に見守りをさせていただけるよう旗当番のご協力をお願いしておりますが、ご家庭においても今一度お子さまと一緒にこのT字路の渡り方について会話していただき、ここに推奨する渡り方についてご指導いただきたく存じます。特に下校時は見守りがないので、一人一人が気を付けて通行するようお願いいたします。また、登下校時にこちらのT字路を通らない児童につきましても、友だちの家に遊びに行く際や、習い事に通う際などに通ることもあるかと思っておりますので、是非同様にご確認をお願いいたします。

この見守りポイントBの左右は坂であり、特に身体の小さな低学年の児童は車から見え難いため、下の図のように左右両方の坂を見渡せる坂の頂上（黄色い消火栓マンホー

ルがある位置)で渡ることが最善と考えます。

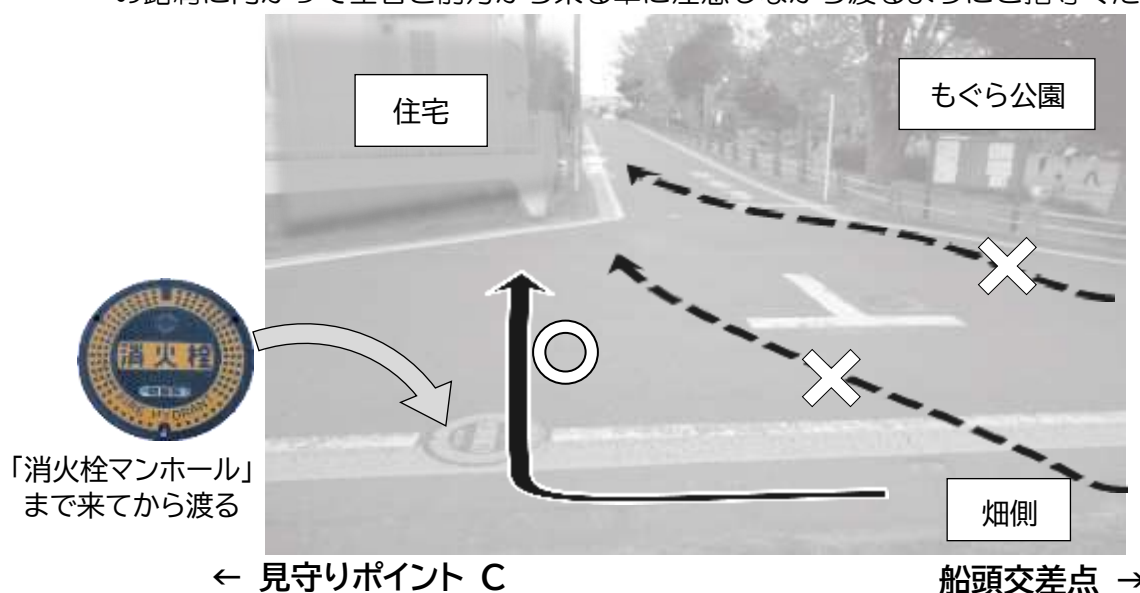
グリーンベルト(緑の路側帯)は両側に設定されていますが、両側通行は危険と判断しているため、畑側を通っていただくようお願いいたします。

また、畑の段差部分も歩いたりしない様、路側帯の歩き方についてもご家庭で一度お話しただけたらと思います。

校外委員が実際に旗当番の際に児童が渡る様子を確認したところ、この道路を斜めに渡る児童は中高学年の中に多い印象がありました。中高学年の児童には、低学年の児童が真似をして危険な場所で渡ってしまわないよう、いつも良い手本となることを心掛けるようご指導ください。保護者の皆様のご協力をお願いいたします。

#### ① 船頭交差点方面から見守りポイントBを通る登下校ルート

坂を上がり切り、黄色い消火栓マンホールの位置から、公園側ではなく、学校側の路肩に向かって左右と前方から来る車に注意しながら渡るようにご指導ください。



#### ② あざみ野4丁目方面から見守りポイントCを通る登下校ルート

見守りポイントC付近から斜めに渡らず、T字路の黄色いマンホールの位置まで坂を上ってから、左右と前方から来る車に注意しながら、渡るようにご指導ください。また、あざみ野4丁目方面からポイントCまでのルートを通る場合は、小学校に向かって右側を通行するようご指導ください。

